

各 位

浦安鐵鋼団地協同組合
景況実感調査委員会

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表
(2025年03月分)

ご協力ありがとうございました。2025年3月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 143 回答 134 回答率 93.7%

調査項目	前 年 同 月 比					計
	10%以上 増加・上昇・好況	やや 増加・上昇・好況	横這い・平常	やや 減少・下降・不況	10%以上 減少・下降・不況	
売上数量	9社	17社	46社	31社	31社	134社
	6.7%	12.7%	34.3%	23.1%	23.1%	
	(9.0)	(11.2)	(24.6)	(34.3)	(20.9)	
売上高	10社	17社	42社	36社	29社	134社
	7.5%	12.7%	31.3%	26.9%	21.6%	
	(9.7)	(11.9)	(25.4)	(32.8)	(20.1)	
在庫数量	13社	14社	68社	22社	11社	128社
	10.2%	10.9%	53.1%	17.2%	8.6%	
	(7.8)	(14.7)	(46.5)	(20.9)	(10.1)	
販売単価	6社	13社	61社	47社	5社	132社
	4.5%	9.8%	46.2%	35.6%	3.8%	
	(3.8)	(14.3)	(47.4)	(31.6)	(3.0)	
収益状況 (粗利)	11社	15社	53社	34社	20社	133社
	8.3%	11.3%	39.8%	25.6%	15.0%	
	(7.5)	(13.4)	(36.6)	(31.3)	(11.2)	
稼働率 (生産・加工設備)	2社	11社	45社	35社	21社	114社
	1.8%	9.6%	39.5%	30.7%	18.4%	
	(1.7)	(12.2)	(40.0)	(34.8)	(11.3)	
入出庫の トラック台数	1社	7社	64社	42社	17社	131社
	0.8%	5.3%	48.9%	32.1%	13.0%	
	(1.5)	(10.0)	(40.0)	(35.4)	(13.1)	
現在の 景況感	0社	4社	50社	48社	30社	132社
	0.0%	3.0%	37.9%	36.4%	22.7%	
	(0.0)	(3.7)	(30.6)	(45.5)	(20.1)	
3ヶ月後の 景況予測	0社	5社	76社	40社	11社	132社
	0.0%	3.8%	57.6%	30.3%	8.3%	
	(0.0)	(8.3)	(66.2)	(21.1)	(4.5)	
特記事項						

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります
②()内の数字は前月のパーセントです
③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は
特記事項欄に別途記載いたします
④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください
事務局 TEL：047-350-5311 FAX：047-350-5316

景況実感調査(2025 年 3 月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

【お断り】寄せられたコメントは、各社担当者の現場の声です。個々の会社固有の状況にもとづくものも多々あります。業界全体及び浦安鉄鋼団地全体の見解とは必ずしも一致しませんので、お含み置き願います。また、不穏当な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 3 月は前年比横這いで推移したが、今後トランプ政策により、輸出産業は大きく打撃を受けることになると予想。一方で、三品在庫は適正在庫圏内となり、市況の下支えとなることを期待。
- ② 年度明けの物件端境期になることもあり、売上数量は減少することを想定。
- ③ 店売需要停滞は継続しており、上向く兆しは全く見えない状況。JFE スチールは高炉 1 基のバンキングを決め、年度が変わってもさらに悪くなっていく模様。

中板

- ① 中板においては、駆け込み需要等も見られず、盛り上がりも無いまま年度末を迎えた。店売りも各社小口当用買いに徹しており商いは閑散としている。市況は電炉メーカーの値下げもあり、弱含みジリ安の傾向が続いている。先々に良い話も聞かれず好転にはしばらく時間を要すると予想される。

厚板

- ① <全体感>状況は変わらず、各分野で需要は低迷し、低位横這いの状況が続いている。紐付き分野においては期末までの在庫調整局面の中、生産調整が継続しており、総じて荷動きは少ない。4 月以降、大きく回復するようなトピックスもなく、当面は低位で推移していくことが予想される。
<分野別>建産機分野においては上記の通り在庫調整が継続している。4 月以降は販売見合いの生産に戻っていく計画となっているが、足元のアメリカの動向による輸出向けへの影響が不透明な中、輸出比率が高い建産機分野の販売動向は不透明感あり。店売分野においても紐付同様に引き合いは少なく、SPOT 的な単発案件が中心となっている。
- ② 建設機械向けは、減産が顕著で売上も減少している。店売り関連は、鋼材の高騰、人手不足の影響で売上も大きく減少している。
- ③ 東鉄の値下げ発表により、市中価格の下落が大いに懸念される。

一般形鋼・H形鋼

- ① 直近の月間販売数量は 5 年前比 10%減少。構造的な販売数量減少傾向の最中でのトランプ関税の発出で、今後の景気回復への望みは薄い。
- ② 一部メーカーの値上表明が行われる中、市況はじり安継続。足元の需要、25 年度の見通しへの不安が影響していると思われる。そのようなことは以前からわかっていたこと。冷静になり行き過ぎた安値は断る勇気も必要と考える。需要実態に即した在庫オペレーションを継続する。
- ③ 土木関係は不需要期に入るため、商いは細ってきている。売上数量が前年同月比やや増加しているものの、前年実績が不調であったためと認識。今後秋頃まで低調な

荷動きを予想している。

異形棒鋼

- ① 3月 は年度末にもかかわらず、荷動き不振が続き、売上の落ち込みは深刻。需要回復の動きは見られず、新年度も期待できない。
- ② 相場は変わらず。3月、4月 は若干の反動とGW 前で少し動きはある。

平鋼

- ① 1、2月 に比べ微増。4月 以降も荷動き期待出来ず、年内はこのペースが続くと予想。来月より固定費増などコストアップ要因があるのでこれ以上の値下げは出来ない状況。
- ② 3月 も全体的に仕事は薄く、各在庫店からの荷動きも鈍い状態。在庫の補充も現状の在庫回転率が悪く、必要最低限の購入量となっている状況。建築案件も変わらず物件がない状況。先々の話はあるが、今後も建築現場の職人不足や材料費高騰による設計変更も出ており、計画通りに仕事が出てくるか不透明な状態。今後も日々の営業活動の中でしっかりと情報収集を継続する。

軽量形鋼

- ① 生産量、受注量共に横這い傾向。当面横這い傾向継続を予想している。
- ② 先行きの売上回復が望めないとの情報が大半を占めており、不安が募る中での商売が継続している。

鋼管

- ① 年度通じて最低水準の動きとなり、先行きも期待感薄く、厳しさが継続すると予想している。
- ② 期末に向けて、引取増の荷動きを期待していたが、問屋筋の引合弱く期待外れであった。市況が比較的安定していることは良いことだが、新年度の第1 四半期も出荷は弱い傾向が続くと思われる。

構造用鋼

- ① 需要については、自動車関連で一部堅調な分野もあるが、それ以外は振るわない状況。建機は中国と北米と低位で推移。半導体関連は、期待感はあるが不透明。荷動きは全体的に精彩を欠いている。在庫は横這いで出荷見合いの適正。価格は一部で安値も見受けられるが局所的に留まる。当面は採算重視の我慢が続くそう。

その他

<異形バー・インコイル・ナマシ鉄線>

- ① 国内、国外の情勢が不安定で明るい兆しが見えない。現状維持が精一杯。

<スクラップ>

- ① スクラップ発生は依然低調。荷動きが悪く、相場の予想も非常に難しい。様子見が続く。

<金属表面処理>

- ① 3月 の紐付き・物件物ともに計画通り。スポットは短納期対応が想定以上にあり、扱い量は10%増となった。協力会社による特殊塗装、特殊加工により、売上・収益に寄与した。4月 は2物件の大型案件がスタートするため、高い操業となる見込み。